

令和元年度 第1回 掛川市地域公共交通会議 会議要録

日 時：令和元年8月21日（水）午前10時00分～11時30分

場 所：掛川市役所5階全員協議会室

出席委員：24人（随員4人）（欠席委員2人）

次 第：

- 1 開会
- 2 委嘱書交付
- 3 市長挨拶
- 4 会長選任
- 5 副会長指名
- 6 会長挨拶
- 7 委員自己紹介

8 議事

〈報告事項1〉「掛川市の公共交通について」

- ・掛川市の公共交通体系や平成30年度の輸送人員・欠損額について説明した。

質疑・意見)

- ・特になし

〈報告事項2〉「桜木線改善策の取り組み状況について」

- ・自主運行バス桜木線「家代の里経由」の新設等、桜木線の改善を図るための取り組み状況について説明した。

質疑・意見)

- ・桜木地区地域交通協議会としては、バスを利用したウォーキングイベントなど桜木線の改善を図る取り組みを今後も実施していく。

〈報告事項3〉「掛川大須賀線運行状況報告について」

- ・平成30年10月より一般化運行された自主運行バス掛川大須賀線の利用状況等について説明した。

質疑・意見)

- ・特になし

〈協議事項1〉「会議設置要綱の一部改正について（案）」

- ・任期満了後の役員不在期間が存在することにより、書面決議等の早急な対応ができない場合の改善を図るため、委員の任期について第4条第1項の「翌年度の3月31日まで」を

「翌々年度の8月31日」までとする。

質疑・意見)

- ・なしで承認

〈協議事項2〉「掛川市自主運行バスの効率化と利便性向上策の実証実験結果による本格稼働について」

- ・降車専用の実証実験結果による市自主運行バス（居尻線・東山線・栗本線）の効率化と利便性向上策の本格稼働（路線の縮小、増便）について提案した。

質疑・意見)

- ・評価値は、路線全体の値で評価するのか、それとも増便した便の値で評価するのか。
→路線全体での評価を考えているが、適切な評価方法については今後実際に運行された後に実績値を踏まえて運行会社とその都度検討協議していきたい。
- ・路線の縮小によってバスが無くなる地域の方々への周知はどのように考えているか。
→実証実験前に沿線地区へ説明を行っているが、今回の承認を受けて改めて地区へ説明に伺う。一般的な周知については、広報かけがわ10月号への掲載と静岡新聞折込チラシでの周知を図る予定である。

→すべての協議事項について、原案通り承認された。

9 その他

質疑・意見)

- ・タクシー会社としてはデマンドタクシーを受け入れる方針であるため、必要としている地区が市に要望し協議してほしい。
- ・掛川大須賀線について年度毎の全体の利用者数とあわせて便数ごとの運行状況を示すことは可能か。(会議終了後の質疑)
→便数ごとの利用者数を確認し、次年度第一回会議の報告事項「掛川市の公共交通について」の際に報告する。

10 閉会